

山女位寺殿御目記

六十九

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82(71)
函號	台 19 359

古文書

一九函共八三  
三五九號

山女位寺殿御目記



71  
/

21/2

# 文明元年

大日本國編纂三卷中録

合情金... 萬三千七百六十四圓五拾八錢六厘  
 情金... 萬六千七百四十四圓五拾壹錢三厘  
 國庫... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 縣... 萬一千六百八拾八圓八拾六錢三厘  
 業... 萬三千五百四拾四圓六拾錢  
 國... 萬六千七百四拾四圓四拾錢

水車... 三百三拾圓  
 鐵... 四百六拾圓  
 車... 三百四拾圓  
 人... 八百四拾圓  
 市... 四百六拾圓  
 人... 八百四拾圓  
 鐵... 三百三拾圓  
 鐵... 四百六拾圓  
 林... 四百六拾圓  
 工... 四百六拾圓  
 商... 四百六拾圓  
 可... 八千三百六拾圓  
 取... 萬四千四百三拾四圓  
 情... 六萬三千八百八拾圓  
 賣... 四萬四千六百三拾圓

# 経覽

大日本國編纂三卷下

國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘

國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘  
 國幣... 萬六千八百八十八圓八拾六錢三厘

二 一

71  
3  
應仁三年卯月 日

同日又日

天明

高  
守  
勢  
雜  
記

守



71  
4

10

三月三十日

應仁三年三月廿三日丙午刻之

御書



御書

御書

御書

御書

御書

御書

及八句言

意

若日

卯月

朔日

千徳

四日

御書

715

21



道に於て舟しふりめゆに好縁中世言  
 事下ありてその様方社宮下事と後  
 等しゆす主朝の非違の細と所ふ人  
 とかえき毎り多事流るるを抑は  
 礼神且食所を極て二の別忠中も武  
 及らぬまはして北の目小法とて之就  
 神又糸三直中敷后に指多記り  
 物不果糸二一に中記るる也  
 旨 こ未

何人小西と下事申し祓之由とて

旨 彦率

也三度申し終更に復生療病言ふを也

旨 彦南

たためて孫分り

一は中流事の 号地成防 御書相病言ふ

左をこ徳助大流し付月代日三戸行中流

命

旨 彦成



若物之干及得之文初若師人柱師曰彼  
將之月信三指之取

九日三系

今自由心甲般白是之氣氣行

十日子

通目代神之依力師人柱師曰彼  
難之利全一法也之三

久宣注平之山田良祐乃受也之師  
難之柱師一末有師一利全一法也之

述修六

一三港橋寺國師實負杖名元也之  
人幸之存案約法方之師人柱師

三人 是也也 師人柱師

一神名寺 竹信師 師人柱師

抄本

一高南寺神 其弘信部 室方信部  
室方信部 室方信部 師人柱師

高麗人... 内務部

初因... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

一 榜別... 地方

日野川

一 文正傳師 字安師 宛東 子守書

其子安師 字安師 宛東 中師 字守書

雖 此師 師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

師 字守書 宛下 字守書 宛下

白海國以下

一 陽洞師 陽洞師 陽洞師  
一 陽洞師 陽洞師 陽洞師

一 一保者乘者 一保者乘者  
一 一保者乘者 一保者乘者

一 一保者乘者 一保者乘者  
一 一保者乘者 一保者乘者

去日 西京

通目代 通目代 通目代  
通目代 通目代 通目代

一 一保者乘者 一保者乘者  
一 一保者乘者 一保者乘者

三日月一

今日付月代事於福之...  
信三...

一 付目代 被取打入...  
花...

一 祝福信世...  
多...

一 大隅方事...  
中...

一 市取注...  
中...

一 定...  
三...

一 初...

一 祝...  
三...

市日成反之也

即の故也書其方以二如の致を以て  
中の公書信二筋の如くして其の言を以て  
字の如くして其の言を以て其の言を以て

二行中しとら

一 之を二如の如くして其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

一 其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て

一 其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

其の言を以て其の言を以て其の言を以て

長御の御事  
礼に於て  
御事  
御事

一 奉送御事  
御事  
御事

御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一 御事  
御事  
御事

一、... (cursive handwriting)  
五、... (cursive handwriting)  
六、... (cursive handwriting)  
七、... (cursive handwriting)  
八、... (cursive handwriting)  
九、... (cursive handwriting)  
十、... (cursive handwriting)

通目代注柄上云々

一、... (cursive handwriting)  
二、... (cursive handwriting)  
三、... (cursive handwriting)  
四、... (cursive handwriting)  
五、... (cursive handwriting)  
六、... (cursive handwriting)  
七、... (cursive handwriting)  
八、... (cursive handwriting)  
九、... (cursive handwriting)  
十、... (cursive handwriting)



ふ別 後事 頼りし 中 頼りし 中  
ふ 頼りし 中 頼りし 中

一 佐井 久人 頼りし 中 頼りし 中

七日 頼りし 中 頼りし 中

一 頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

頼りし 中 頼りし 中 頼りし 中

一 一十七日 頼りし 中 頼りし 中

作付の石の爲の道中書。由中へ津坂  
 占候と申す事也。とて江津原へ  
 又目代は船より多也。船より出候  
 物より言候は土赤且は赤の黒  
 吉と云ふ御法。遂に非を忍びて行  
 神人候し。又お申候て。予は候。梅  
 編と申す。是より神の非を候。候  
 津。五福候。予より久。誰出候。白  
 予より神。且言。白。相。申。候。美。生

神人二言也。津くは

一 考。音。村。幸。事。而。通。月。代。任。村。教  
 多。致。候。事。若。各。回。星。幸。江。津。原。上。候。事  
 大。自。事。申。并

少。訪。言。候。事。と。申。事。予。より。及。不。思。候。事。は。果  
 上。候。事。候。事

一 此。事。候。事。予。より。及。不。思。候。事。は。果  
 一 別。家。之。御。事。候。事。申。事。申。事。申。事。申。事  
 予。より。及。不。思。候。事。は。果

此後の事は、寺の御書に記して置る  
二初、御書に記して置る事、御書に  
也、御書に記して置る事、御書に  
十一、御書に記して置る事、御書に  
三、御書に記して置る事、御書に

也、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に

此後、御書に記して置る事、御書に  
十一、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に  
事、御書に記して置る事、御書に

十九日 之角 舞

玄海寺に去り別命五師宗等撰毒藥  
 上云此生今事一サ三下ノ及び四也請  
 二魚道之ニ以テ却今ニ或リ四一也  
 一之云云候ハ是ヨリモ一取書候  
 事ハ一々ノ事也

一法用信事ハ一借目代用事ハ一印中候事  
 ハ一云々候事ハ一取書候事ハ一取書候事  
 法用信事ハ一借目代用事ハ一印中候事  
 ハ一云々候事ハ一取書候事ハ一取書候事

一借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事  
 借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事  
 借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事

一借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事  
 借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事  
 借目代用事ハ一借目代用事ハ一借目代用事

一 是月信... 以下... 進目...  
此月... 進目... 物...  
之... 物...

一 是月...

一 此月... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...

廿日... 成... 并...

... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...  
... 進目... 物...

廿日 系

聖南無志し備進室供養御法花取  
案

一 勿得聞之元々御

一 おけはる 吉事 建福寺 今夜三香

長き遠方請取事 此中付与方也

お祓之院 難し請取事 御祈之御

お取之御事 此中 長き遠方請取

取之 二重院 御祈事 請取之御

長き遠方御事 此中 行方之御事

此中 御祈事 此中 御祈事 此中

此中 御祈事 此中 御祈事 此中

御祈事

向方御事 長き遠方御祈事 言深寺

苦痛御祈事 此中 御祈事 此中

苦痛御祈事 此中 御祈事 此中

御祈事 此中 御祈事 此中

乃好好物

市傳皇中幸約法原法傳... 約好取  
幸如來佛向法下... 約好請

解之市使... 約好請

入葬... 約好請

向善... 約好請

約好... 約好請

平好... 約好請

よあ... 約好請

長... 約好請

來... 約好請

め... 約好請

精... 約好請

三... 約好請

退... 約好請

一... 約好請

一... 約好請

一... 約好請

一 此の御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、

一 此の御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、

是日西子舟  
在り候と候

一 此の御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、



日丁七五名

一 此の御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、

初補金一箇

此の御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、  
御書に於ては、御書に於ては、



如流寺

一乃宮法乃史重之皇孫刻上向口野赤  
由齊 瑞之云 寺書

寺新乃少母任活言乃物寺寺御依寺  
西所佛祓寺 聖寺乃乃乃乃乃乃  
也所平寺乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
新乃如乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
而乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
同乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
初乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

印乃乃乃乃

瑞乃乃

亦乃乃乃乃

一今日中令如乃乃乃乃乃乃乃  
瑞乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

らゆりし中務之流流正心なりしとて  
新しき流流正心なりしとて

一 古事記云々来りし流流正心なりしとて  
多毛初言正心の中相流正心なりしとて  
月言正心大和言正心流流正心なりしとて  
異言正心大和言正心流流正心なりしとて  
言又入言正心なりしとて流流正心なりしとて  
お相流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
之又入言正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて

廿日代官下

地蔵五の如所

一 流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて  
流流正心なりしとて流流正心なりしとて

一 高田石由乃事のつり帯元と云ふ  
 高田石由乃司政河又くらま石と云  
 中より主事多と云ふら何作  
 中事心多し、  
 一 柳野石由乃事此石由乃司政河  
 之使と云ふ中事多  
 一 後新 陽信之 あ新多一わ園三  
 とお多し又思多下補信わを  
 別も千石海石  
 中事日の中

主清江與之云二つあると云ふ  
 千石又事  
 一 此石由乃事此石由乃司政河  
 三付中事此石由乃司政河  
 廿二日 庚辰 齊  
 ありか事 符石石日 備と三世法  
 此石由乃事

一 万石石由乃事此石由乃司政河  
 赤石石由乃事 高田石由乃事  
 別お石由乃事 高田石由乃事

白尾巻下次極一板高類わ入の園三  
わ入今極一三下

一 此の段を賣清正殿の旨日福女向礼  
注の都万以次極一板園三一わもも物  
中と附を又園りあをされうはる方一極  
清中一わ直うお成りくあ一を極一  
取あ一清正は福屋中二館をま一  
万極一板一板一板一板一板一板一  
痛

一 少次向登は度定下下いまは打見と花  
清極入下且休と少盤わりしりめ板一と  
福見多と一極一板一板一板一板一板一  
高是極一板一板一板一板一板一板一  
まし何と言致し調い少祿を同寺に  
平勿種由前津あり  
花目 年己 研  
即一と注系と名匠信人  
此上中極一人作定物

一 是日方おのりまわらるるをくはるるに  
 初報管部言に是の状に就中なる所を  
 申上るるに不満を以て此等一事を以て  
 中更に言所相申しわらるるに  
 しては以て相に致す事申すに  
 一 是日代江村之を是に致し中相致し  
 是日 三平 斎  
 是等之を申すに若し  
 一 定使相ま相野を

一 是日代江村之を是に致し中相致し  
 是日 三平 斎  
 是等之を申すに若し  
 一 定使相ま相野を  
 一 是日代江村之を是に致し中相致し  
 是日 三平 斎  
 是等之を申すに若し  
 一 定使相ま相野を

叶之世久し松河の事一ま向て三有  
中下力名の下事よりいふ初相  
之に相方なり書如く

一 徳子身 本月十日ヨリ初相の如き  
中下力名あり一初相の如き  
之の相方なり一初相の如き  
因之相方なり一初相の如き

一 九日 未相 止相の下  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き

一 中下力名 初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き

一 未も初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き

一 同井 初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き  
初相の如き一初相の如き

申し給へりし程併同なる事なり  
大目人

初日 甲申 二舟

千徳方福を甚く

一 勿海河二方以例 普賢堂命元十人

二 乃命命元十人等し 之は夜准海河

同之方也

一 千名之許種人

二 專賣法は殊は物 其は殊持守り 由は行守り

一 古市一新一所 持守り 物し 別 舟 海 丁 合

三 下

一 傳 証 志 々

二 日し 丙 壬 也

三 刺 束 也 度 人 伍 吹 清 心 加 礼 者 後 年 来

一 字 飲 極 野 之 事 事 以 取 下 之 混 乱 の 細 也

二 人 心 別 形 桂 柳 依 ぬ 久 々 と 安 居 せ ぬ

三 是 大 小 以 乃 心 難 多 之 事 及 三 心 等 也

四 中 心 洞 也 之 事 相 如 九 十 年 之 事 也 武 官 等

五 由 書 之 事 中 物 物 方 字 力 信 行 持 守 之 事

六 古 事 中 也 之 事 乃 之 事 礼 大 用 大 之 事 也 物

七 室 子 也 二 道 之 事 之 事 之 事 之 事 之 事

八 小 小 間 見 之 事 之 事 之 事 之 事 之 事

九 船 中 之 事 之 事 之 事 之 事 之 事

十 手 書 之 事 之 事 之 事 之 事 之 事

一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう

二 日西成弁

一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう  
一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう  
一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう

一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう  
一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう

四 日丁取弁

一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう  
一 拍野中藏。以ふ力んをたうらう  
中ふい蔵のそふを初紙の申  
合連中紙のそふをたうらう



関り有と入物とておとせぬと云々

一 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之 此等名賢亦 名匠之

古市に於ては市中又は一室に於ては海に  
 相帯ふ物に本ありけりわらむ大に相帯ふ物  
 多し中pらの江に於ては凡そ舟中相帯  
 乃上國相帯る方ありて舟中相帯り  
 應り同前開ありて舟中相帯り  
 漢口に於ては實に舟中相帯り  
 松角の江に於ては舟中相帯り  
 此の江に於ては舟中相帯り  
 子江に於ては舟中相帯り  
 六日三日と相帯りて舟中相帯り

六日三日と相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り

一 船中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り

舟中

舟中相帯り

舟中相帯り

一 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り  
 舟中相帯りて舟中相帯り

一 此書...  
 一 七日...  
 一 乃...  
 一 七...  
 一 希...

一 日...  
 一 秘...  
 一 乃...  
 一 古...  
 一 二...  
 一 了...  
 一 也...

九...  
 一 回...  
 一 中...  
 一 方...  
 一 矣...  
 一 十...  
 一 市...

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり

一 舟の西の海に舟あり



一寺のまねに我松申信信の道行時事ある  
 取置人云は其師よりちん也流故後三領  
 申中忠實言ふ事即ちある事なき事  
 況みおれす事と洞代にあらす方戸元  
 午日修修事ふ事人けりし事信  
 々宗規なる方と申せり市に云ひぬ  
 信方強信云は此下は成る事後信  
 云ひし其師云は信の事也

一カ者物より御件送る事縁信成事也  
 神主宮土又申  
 信にお他別事又申す事信成事也  
 信云は十戸事也

一花野以人其事信信の事信成事也  
 信云は事也又申す事信成事也  
 信云は事也又申す事信成事也  
 一信云は事也又申す事信成事也  
 一信云は事也又申す事信成事也

一其日甲辰年  
 其日信信の事信成事也  
 信云は事也又申す事信成事也  
 信云は事也又申す事信成事也  
 信云は事也又申す事信成事也

一 分海同二存前  
 一 寺人等。近江七甲中一記  
 一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記

一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記

一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記  
 一 寺内等。近江中一記

廿七日丁未并

地或五の例 大尊在位の定むる例

一 初年之例 初年之例

一 新入之例 新入之例

一 万作至作之例 万作至作之例

一 世云向例之例 世云向例之例

一 修自之例 修自之例

一 了自之例 了自之例

一 地下人等之例 地下人等之例

一 横之例 横之例

其田代申并

一 初年之例 初年之例

一 新入之例 新入之例

一 万作至作之例 万作至作之例

一 世云向例之例 世云向例之例

一 修自之例 修自之例

其田代申并

一 初年之例 初年之例

一 新入之例 新入之例

一 万作至作之例 万作至作之例

一 世云向例之例 世云向例之例

一 修自之例 修自之例

一 了自之例 了自之例

一 地下人等之例 地下人等之例

一 横之例 横之例



梅云と云はるの御文持り

一 付付院の御文持り不承公被申上御入替之御文持り  
老日度御存  
是御御文持り

一 寺人事務院御文持り上右年以下之御文持り  
之御文持り

一 寺務院御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

一 真直寺御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

一 蓮花院御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

一 古市本寺御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

岡井御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

蓮花院御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

御文持り上右院之御文持り  
御文持り  
御文持り  
御文持り

一 相一法... 相一法... 相一法... 相一法... 相一法...  
 一 能... 能... 能... 能... 能...  
 一 其... 其... 其... 其... 其...  
 一 以... 以... 以... 以... 以...  
 一 此... 此... 此... 此... 此...

六月史

朔日三毛  
 千德万福を其...

一 古... 古... 古... 古... 古...  
 一 作... 作... 作... 作... 作...  
 一 若... 若... 若... 若... 若...  
 一 相... 相... 相... 相... 相...  
 一 事... 事... 事... 事... 事...  
 一 乙... 乙... 乙... 乙... 乙...  
 一 大... 大... 大... 大... 大...  
 一 以... 以... 以... 以... 以...  
 一 立... 立... 立... 立... 立...  
 一 修... 修... 修... 修... 修...  
 一 極... 極... 極... 極... 極...  
 一 高... 高... 高... 高... 高...

三日し申

寺人へ渡すお梅重申は奉侍さうふあは  
御書お梅重申は奉侍さうふあは  
先きお梅重申は奉侍さうふあは

四日辰

お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは

六日丁巳

お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは

お梅重申は奉侍さうふあは

七日戊午

お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは

七日己未

お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは  
お梅重申は奉侍さうふあは

八日庄書

一 所好の言程遊てし年ふ師ふ千友記し

一 万部御しは江力志らん人てし主を母在

一 御付中作らるる事あり

一 佐世方之事ありしは信り事し可し

一 御程傍海古らるる信り事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

御書ありしは書りし事し可し

一 大御所の御書ありしは書りし事し可し

九日庄書

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

一 御書ありしは書りし事し可し

初美印は... ことかた... 入在...

十日壬戌... 下力... 由...

各作... 由... 事...

言... 言... 言...

言... 言... 言...

言... 言... 言...

昔日... 永存

夕海... 同...

言... 言... 言...

言... 言... 言...

言... 言... 言...

十日... 甲子...

夕... 夕...

言... 言...

三日月し七昇  
移移海老白雲のし

而日而雲弁はあめ  
 御國今事わき言ては中下  
 湖を日ててははは信をたて  
 けらわつてはは信をたて  
 一 中下中下中下  
 白雲のし七昇  
 移移海老白雲のし  
 一 中下中下中下  
 白雲のし七昇  
 移移海老白雲のし

一 中下中下中下  
 白雲のし七昇  
 移移海老白雲のし  
 一 中下中下中下  
 白雲のし七昇  
 移移海老白雲のし

一 中下中下中下  
 白雲のし七昇  
 移移海老白雲のし

三日月辰

一 古市本 後通 あり  
一 松州 國入 抄 今 旨 古 法 石 大 内

七日己巳 夜 記  
此 記 之 向 古 法 寺

大日 在 午 一 并

一 梅 是 子 抄 勿 日 是 之 形 中 行 子  
一 美 三 庫 方 之 本 松 松 地 寺 之 形 中 行 子  
一 中 行 令 子 行 松 松 地 寺 之 形 中 行 子  
一 古 法 寺 之 形 中 行 子

蘇 日 幸 未 之 記

一 高 山 西 海 寺 物 行 道 之 形 中 行 子  
一 法 麻 津 物 作 之 形 中 行 子  
一 國 房 之 形 中 行 子

廿 日 之 中 一 并

一 美 古 寺 法 師 之 形 中 行 子  
一 各 法 師 之 形 中 行 子  
一 石 師 之 形 中 行 子  
一 古 法 寺 之 形 中 行 子  
一 古 法 寺 之 形 中 行 子  
一 古 法 寺 之 形 中 行 子

けしん云々...  
一 往來...  
...  
一 寺...  
...

其日...  
...  
...

一 何...  
...  
...  
...



一 月之初... 入... 中... 終...  
 一 月... 終... 終...

廿日甲戌... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...

終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...  
 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終... 終...

御書別紙付上書

長禄二年正月十日

四月廿五日

川

田

...

...

...

...

...

71-47-1-10

一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...

廿三日し... 廿三日し... 廿三日し...

一 此の御書より... 御書より... 御書より...

一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...

一 此の御書より... 御書より... 御書より...  
 一 此の御書より... 御書より... 御書より...

今更に申すに、主君と臣と、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、

廿一日、申すに、主君と臣と、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、

廿一日、申すに、主君と臣と、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、

廿一日、申すに、主君と臣と、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、

廿一日、申すに、主君と臣と、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、  
成るれば、油の如く、一物にても、油の如く、



715048

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

Wm

71  
51  
49

同三半丙子五月丙辰守 = 廿 < 十 月 辛 酉 十 = 轉 <  
 凡主 水 證 正 證 下  
 嘉二半壬申二月壬子守 = 廿 < 證 不 同 文 證 實  
 常貞 水 證 正 證 下  
 半十月壬戌守 = 廿 <  
 宗敬 證 正 證 下  
 半三月丙辰守 = 廿 <  
 表眞 證 正 證 下  
 同八半丙子五月甲戌守 = 廿 <  
 豐水 證 正 證 下

三 儀衣長官

同二半丙子五月丙辰守 = 廿 <  
 末守 水 證 正 證 下  
 同十半癸亥五月辛丑守 = 廿 <  
 常眞 證 正 證 下  
 同八半甲寅五月癸亥守 = 廿 < 證 不 同 證 日 本 證  
 眞綱 證 正 證 下  
 同十三半壬寅五月守 = 廿 < 證 實 文 證  
 守 證 正 證 下  
 同五半甲子十一月癸未守 = 廿 <  
 眞綱 證 正 證 下

同八半丙子二月丁丑守 = 廿 <  
 文定千孝 證 正 證 上  
 同四半乙丑五月辛丑守 = 廿 <  
 管林晉職 證 正 證 上  
 同八半丙子八月乙亥守 = 廿 <  
 任川美奈尙綱呂 證 正 證 下  
 同十半丙子二月甲子守 = 廿 <  
 百壽王山宗 證 正 證 下  
 寶壽二半辛未閏三月丙子守 = 廿 <

三 儀衣長官

同十六半丁丑五月庚子守 = 廿 < 證 不 同 日 本 證  
 突覺親吉 證 正 證 上  
 大同元年丙寅五月二十八日癸巳守 = 廿 <  
 大骨長林 證 正 證 下  
 同半二月十日甲辰守 = 廿 <  
 菅裡親主 證 正 證 上  
 同元年規寬八月十五日壬午守 = 廿 <

二

石川恒 位五下

神護景雲二年戊申二月癸巳守ニ任ス

粟田鷹 位五下

同七年癸卯正月壬子守ニ任ス

佐味宮守 位五下

天平字四年庚子五月丙申守ニ任ス 日本續紀下

巨勢廣 位五下

國守

造ハ古昔ノ國造ト同シカラス故ニ之ヲ録セシ

房國國造正八位上伴直千福麻呂授外從五位下然レトモ當時ノ國

地方長官

書タル古來議論多シ故ニ此ニ附記ス又文德實錄嘉祥三年六月ニ載ス安

世孫彌都侶岐命孫大伴直大瀧定賜阿波國造ト然レトモ舊事記ノ

孫伊己侶止直定賜伊甚國造ト又載ス志賀高穴穗御世天穗日命八

按スルニ舊事記ニ載ス志賀高穴穗朝御世安房國造祖伊許保止命

長狹國造

神武天皇ノ皇子神八井耳命ノ後長狹國造タリ古事記

國造

地方長官

賣藥税金四百九圓拾三錢 營業稅百五拾三圓四拾錢 印

紙稅貳百五拾五圓七拾三錢

計金拾六萬三千八百貳圓七錢六厘

地方稅

地租割金壹萬五千四百三拾四圓拾七錢三厘

戶數割金八千三百七拾六圓拾五錢

營業稅金七千貳拾圓七拾五錢 商業稅五千四百七拾七圓七拾

五錢 工業稅千五百四拾三圓

雜種稅金七千七拾五圓貳拾四錢七厘 料理屋稅四百貳圓 飲食店

稅八圓貳拾五錢 理髮人稅三百三拾壹圓九拾八錢 遊藝師匠稅

三拾九圓貳錢五厘 遊藝稼人稅九拾八圓貳拾五錢 備人請宿

稅六圓 相撲稅貳拾圓 藝妓稅貳百貳拾九圓五拾錢 市場稅五

拾壹圓九拾錢四厘 演劇稅百八拾四圓 興行稅百九拾四圓五拾

錢 遊伎場稅壹圓 人寄席稅百五拾九圓六拾錢 船稅七百貳拾

九圓拾八錢八厘 車稅三百四拾七圓貳拾五錢 水車稅百三拾貳

圓 乘馬稅四拾五圓五拾錢 屠宰稅三拾六圓四拾錢 漁

業稅三千五百七拾四圓六拾錢 採掘稅百四圓貳拾錢

雜收入金貳千七百八拾八圓拾九錢三厘 土木增費九百七拾九圓九

圓貳拾五錢貳厘 上修繕費千八百八

計金四萬六百九拾四圓五拾壹錢三厘

合計金貳拾萬三千七百七拾六圓五拾八錢九厘

計金

收區

あき

あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき

あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき

あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき  
あき



弘仁元年庚寅九月十五日壬子權守ニ任ス

菅野庭王正五位上

同年二月十日甲辰守ニ任ス

大伴長村從五位下

大同元年丙戌正月二十八日癸巳守ニ任ス

安曇廣吉從五位上

同十六年丁丑正月庚子守ニ任ス日本後  
紀下同

百濟王元勝從五位下

同九年庚午三月丙午守ニ任ス

同年四月丙戌權守ニ任ス

卷三 地方長官

大野仲男從五位下

同八年己巳二月丁丑守ニ任ス

文室子老從五位上

同四年乙丑正月辛丑守ニ任ス

淨村晋卿從五位上

延暦元年壬戌八月乙亥守ニ任ス

石川美奈伎麻呂從五位下

同十年己未二月甲午守ニ任ス

百濟王仙宗從五位下

寶龜二年辛亥閏三月戊子守ニ任ス

紀和氣麻呂從五位下

同五年甲午十一月癸未守ニ任ス

紀樺守從五位下

同十三年壬寅正月守ニ任ス文德  
實錄

藤原真綱從五位下

承和元年甲寅正月癸亥守ニ任ス續日本後  
紀下同

御春清庭從五位下

同十年癸亥正月辛丑守ニ任ス

匝瑳末守外從五位下

同年二月己巳守ニ任ス

卷三 地方長官

和氣豐永從五位下

嘉祥元年戊辰正月甲戌守ニ任ス

藤原秀道從五位下

同年三月己卯守ニ任ス

大神宗雄從五位下

同年七月壬戌守ニ任ス

高橋清貞外從五位下

仁壽二年壬申二月壬子守ニ任ス文德實  
錄下同

家原氏主外從五位下

齊衡二年丙子正月丙辰守ニ任ス十月卒博士ニ轉ス

三

三

71  
52  
五

紙  
数  
五  
十  
枚

